



2024 年 4 月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(1 ページ\)](#)
- [問題 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

デジタルマップ

Cisco Spaces では、リッチマップのアップグレードバージョンである**デジタルマップ**が導入されています。使用可能なデジタルマップには、次の 2 つのバリエーションがあります。

- **STANDARD** マップ：会議室のサポートなし、または **Cisco Smart Workspaces** との統合なしの 2D フラットマップを表示します。
- **PRO** マップ：3D 可視化を表示し、**Cisco Smart Workspaces** で使用可能なすべての機能を含みます。これは、リッチマップと同様です。



(注) ACT/UNLIMITED ライセンスを持つロケーションは、PRO バリエーションに排他的にアクセスでき、STANDARD バリエーションには、SEE、EXTEND、SMART_OPERATIONS などの他のライセンスタイプで引き続きアクセスできます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwj66876	アプリのアクティブ化：アプリのアクティベーションコールがアクティベーションイベントごとに重複している

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。